

安保法2ヵ月

「9月19日忘れない」

県内
4ヵ所

一斉に廃止アピール

集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法が成立した九月十九日を記憶に刻もうと、安保法の廃止を目指す「戦争をさせない全国署名県連絡会」の会員らが十九日、県内四ヵ所で一斉にアピール行動をした。毎月十九日に同様の行動を続け、同法の廃止を粘り強く訴えていくという。

第一回のこの日は、宇都宮、鹿沼、栃木、佐野の四市で行い、計五十人以上が参加。宇都宮市中心部の宇都宮二荒山神社前での行動には約二十人が集まり、「戦争反対」「9条壊すな」と書かれたプラカードを掲げ、「安保法廃止に協力を」と通行人に呼び掛けた。県連絡会の共同代表の太

停止を通行
法の廃止を
の通行に
関連する
保障署名
安全を求める
人の女性



田うるおう弁護士は「安保法は憲法が認めていない法律。実際に適用される

ような事態はあってはならない」と主張。各政党の地方議員が同法の問題点を

指摘するリレートークもあった。安保法廃止を求める署名活動も同時に実施。署名に協力した通行人の女性は「戦争には絶対に反対。だって戦争を体験しましたから」と、毅然とした様子で語った。

県連絡会の福田宏至事務局次長は「私たちにとっても九月十九日は、命日と呼べるほど悲しみの深い日。この出来事を忘れないため、少なくとも来年七月の参院選までは毎月行動を続けた」と展望を語った。

(大野暢子)

安倍首相

辺野古「確固たる決意」

日米首脳 談話 南シナ海派遣「検討」

【マニラ 関口克己】安倍首相は十九夜(日本時間同)、オバマ米大統領とマニラ内のホルド会談し、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設に伴い、名護市辺野古に新基地を建設するとした日米合意を推進する方針を確認した。首相は、沖縄県による埋め立て承認取り消しの是非を裁判で争うと説明し、建設推進は変わらない考えを伝達。沖縄の声よりも日米合意を優先させる姿勢をさらに鮮明にした。

今回 (11月19日、マニラ)
前回 (4月28日、ワシントン)

日米首脳会談の主なやりとり

安全保障	新たな日米防衛協力指針の下での同盟強化を確認。連安倍首相への取組みを説明し、オバマ大統領が支持	首相が、日米同盟を基軸とする平和と繁栄のため不可欠と表明。防衛協力の具体化を提案
沖縄	首相が、名護市辺野古への新基地建設について「立場は揺るぎない」と表明。大統領は「沖縄の負担軽減に引き続き協力する」と支持	辺野古への新基地建設に「唯一の道」として、首相が「唯一の道」と強調。負担軽減策への協力要請
TPP	「安全保障にも資する」との意義を確認。日米が交渉をリードし、早期妥結に導くことで一致	首相から「早期署名発効への日米連携を強めたい。TPP経済ルールをアジアに広げたい」と強調
北朝鮮	会談に伴う共同文書に「テロ活動および暴力的過激主義」への対処を盛り込む	首相がシリアの和平プロセスへの関心を表明。人道支援を約束
南シナ海	中国による「一方的な現状変更の試み」に反対し、日米でさまざまな取組みを進めることを確認	首相が米軍の作戦を支持。自衛隊の活動は日本の検討する意向を伝達
韓国	首相が「日韓関係力を説明し、大統領が支持	首相から日韓首脳会談安保協力の重要性を強調
北朝鮮	核・ミサイル問題で日米韓3カ国の連携を確認。大統領は拉致問題で日本への支持	日米、日米韓の連携を強化し、挑発問題で日米韓の協力に期待

首相は会談で、普天間飛行場の移設問題に関し、辺野古への新基地建設が「唯一の解決策だ」と日米両国の方針を堅持する考えを強調。政府が沖縄県との法廷闘争に入ることに關しては、翁長雄志知事による埋め立て承認取り消し、新基地建設を「確固たる決意で進める」と伝えた。

両首脳は、中国が南シナ海を進める人工島の造成に反対することで一致。オバマ氏は「国際的な規範、海洋の課題、航行の自由に関する取組みを進めていく」と述べた。首相は、米

APEC首脳会議関連
核心3関連②⑥面

国が工島十二湾内に艦船を派遣する「航行の自由」を派兵へ支持を表明。南シナ海への自衛隊派遣については「情勢が日本の安全保する安全保障関連法が九月に成立したことを受け「国際社会の平和と安定に一層貢献していくための、新たな協力の序章にしたい」と述べた。

両首脳が南シナ海問題を「検討する」と述べた。

取上げたのは、会談に先立ちアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議で採択された首脳宣言に「連携を促す」と述べた。



国参加者ら=19日午後6時25分、東京・永田町で(中西祥子撮影)